

【平成28年度 犬山市初任者研修 社会貢献活動体験研修】

特別養護老人ホーム「白寿苑」での体験を通して

学校名		氏名	
活動場所	尚齒館2階		
<p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り</li> <li>・ベッドメイキング</li> <li>・食事介助</li> <li>・配膳、片付け</li> <li>・レクリエーション</li> </ul>			
<p>【体験を通して感じたこと】</p> <p>2日間の白寿苑での研修を終えて、人と接する仕事の原点を見させていただけたように思います。</p> <p>利用者さんと接すること、職員の皆さんと接すること、苑に出向いて見える医師の方や療法士の方と接すること、同じ研修を受けている同期と接すること...たくさんの方々がそれぞれに役割を果たしながら、白寿苑の穏やかで温かな雰囲気があるのだと感じました。わたしがお世話になった尚齒館では利用者さんの多くがとても穏やかでゆったりと過ごしているように思いました。同じ部屋で寝泊まりされている方の中にも様々な不自由を抱えている方が見えます。体力的に、精神的に利用者さんの方々が感じる不自由さや困り感の度合いはそれぞれ違うように思いました。その中で職員の方々は利用者さん個人のことをよく把握してみえて介助をされていました。衣、食、住だけでなく、自立活動やレクリエーションなど利用者さんが生活する全てを共に過ごすことを経験させていただき、気を遣い合いながら、思いやりながらの仕事なのだと思います。それはわたしたちの職場である学校も同じで、勉強だけでなく生活や人生において大切なことを子どもたちに伝えていかなければなりません。また、多くの方々によって成り立つというのも共通点のように思います。</p> <p>多くの仕事を抱えていてとても大変そうに思えますが、どれも大切なことで優先順位や効率の良さも求められます。よく周りを見て何が「今」大切なのかを見極められる力が私には足りないのだと感じました。職員の方はどんな言葉で利用者さんに声をかけられていたのか、水分補給ではどれくらいの量を利用者さんに飲んでもらえたらいいのか、自分でできることと介助のラインはどうだったか、そして貴重な時間を割いていただいてやらせていただいたレクリエーションは準備や活動内容の全ては段取り良くできたかどうか。今、思い出すと利用者さんに対して、職員の方々に対して私の振る舞いは適切でなかった場面があったのではないかと思います。</p> <p>これから社会人としていろいろな職、いろいろな年代、いろいろな立場の方々に出会い、大人としての振る舞いをしていくためのヒントを失敗から教えていただいたと思っています。とても温かく、身の引き締まるような2日間でした。至らないところばかりかと思いますが本当にありがとうございました。今回の経験が今後の教育活動に生かされるよう努力し続けて行きたいと思っています。</p>			

【平成28年度 犬山市初任者研修 社会貢献活動体験研修】

特別養護老人ホーム「白寿苑」での体験を通して

学 校 名		氏 名	
活動場所 (○か□で囲む)	寿考館 ( 1階	2階	3階 )
<p>【活動内容】主なものを箇条書きで</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の方々と交流を深める</li> <li>・飲み物の準備</li> <li>・皿洗い</li> <li>・昼食の介助</li> <li>・レクリエーション</li> </ul>			
<p>【体験を通して感じたこと】</p> <p>今回の研修を終えて、まず頭に浮かんだのは祖母の顔でした。私の祖母はまだ健在ですが、いつ何が起こるか分かりません。私も覚悟しなければいけない年齢であることを痛感させられました。また、今回の研修で最も感銘を受けたのは、どの職員の方もすれ違う私たちに笑顔で気さくに挨拶をしてくれたことです。事前打ち合わせで教えて頂いた「笑顔で始まり、笑顔で過ごす」という言葉が徹底されていました。私も教育現場で働く中で、笑顔で挨拶を交わすことの重要性を日々感じています。クラスの全員が一日笑顔で過ごせるクラスづくりのために、白寿苑で学んだ笑顔で挨拶を取り入れていきたいです。</p> <p>初日はとても緊張しましたが、利用者の方々となじめるように常に笑顔で接することを心掛けました。言葉の通じない方も中にはみえましたが、顔の表情から読み取る事を意識しました。分からないことも多くありましたが、職員の方々が優しく教えて下さり、本当に助かりました。職員の方々の仕事を見せて頂き感じたことは、一人一人の利用者の方に合わせて細かい配慮をされているということです。例えば、食事は一人一人の消化能力に応じてペースト状にしたり、温度を変えたりしていました。また、人によって席の位置を変えたり、落としても割れないコップを使ったりと様々な工夫がされていました。このような配慮は、教育現場で重要視されている個に応じた教育やユニバーサルデザインにつながると思います。白寿苑で学んだことを生かし、どの子にも分かりやすい教育を目指していきたいです。</p> <p>二日目の午後には、レクリエーションを行いました。一番迷ったのは、どの方に活動のレベルを合わせるかということです。白寿苑の研修を行う前にあらかじめ、色あてゲームを計画していました。しかし、私がお世話になった三階では、片腕が動かない方や、意思疎通ができない方など様々な方がみえました。そのため、職員の方と相談し色あてゲームを断念することになりました。私の受け持つ学級以上に様々な個性の方が一緒に生活することの困難さを痛感しました。最終的には、手を動かせる方が多くみえたので、風船バレーと点数の書かれた的の上に、丸めた新聞紙を転がすゲームをすることになりました。活動隊形にも迷いましたが、風船バレーは二つのチームに分けて、車椅子同士を向かい合う隊形にしました。また、車椅子同士の間隔を狭くし、風船が落ちにくいように工夫しました。的あてゲームでは、車椅子を円の隊形に移動させ、中心に的を置いて、どの方も投げやすいようにしました。特に、的あてゲームでは、利用者の方々が意欲的に笑顔で活動する姿を見ることができ、とてもうれしくなりました。授業と同じで、一生懸命考えて準備したことは、相手にも伝わるのだということが分かりました。</p> <p>今回の研修で、違う職種であっても教師として学ぶべきことがたくさんありました。白寿苑で学ばせて頂いたことを学級経営に取り入れ、よりよいクラスづくりに努めていきたいです。</p>			

【平成28年度 犬山市初任者研修 社会貢献活動体験研修】

特別養護老人ホーム「白寿苑」での体験を通して

学 校 名		氏 名	
活動場所 (○か□で囲む)	寿考館 ( 1階	2階	3階 )
<p>【活動内容】主なものを箇条書きで</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・室内の掃除</li> <li>・食事準備・補助</li> <li>・洗濯物を畳む</li> <li>・コミュニケーション</li> <li>・レクリエーション</li> </ul>			
<p>【体験を通して感じたこと】</p> <p>二日間の研修を通して、特に印象に残っているのは、利用者の方々との会話、食事の準備・補助です。利用者の中には、何度も同じことを話す方や、耳で話さないと何も聞こえない方、ずっと眠そうにしている方がいました。こちらから何かを話しかけても全く気付かない方でも、自分から話す時は話が止まらないという方もいました。このように、一人一人が全く異なる性格をもっていました。一人一人に、しっかりと話を聞こうという姿勢を持って接することで、円滑にコミュニケーションを取ることができたと思います。また、食事準備・補助の時間は、人それぞれ食べ物の形状が駒切りだったり、ペースト状だったりと異なっており、施設の方々の努力を感じました。食事補助では、口の近くに食べ物を持っていくだけであとは自分で体を動かして食べることができる方もいれば、口の中まで運ばないと食べられない方もいました。これらの方々がスムーズに食事ができるように一回に口に運ぶ量を考えたり、口元を頻繁に拭いたり、気にすべきところが多くありましたが、それらを気に掛けることで、食事を楽しんでいただけたと思います。</p> <p>この研修を通して、傾聴の姿勢を保つこと、相手のことを日頃からしっかりと観察しておくことの大切さを学ぶことができました。利用者の方々は話すことが好きな方が多く、こちらが聞こうとする姿勢を見せると、さまざまなことを話してくださりました。また、食事補助では、日頃からどれだけの量を食べるのか、どれくらいの速さで食べるのか、何が好きなのか、一口でどれだけの量を口に含むのか、これらのことを把握していないと利用者の方に食事を楽しんでいただくことはできないと感じました。</p> <p>これらの学んだことは、学校現場に戻った後でも気にかけていかなければならないと考えています。今回の研修で学んだことを生かして、生徒との信頼関係を築き、日頃の学校生活においてより良い指導を心がけていきます。</p>			

【平成28年度 犬山市初任者研修 社会貢献活動体験研修】

特別養護老人ホーム「白寿苑」での体験を通して

学 校 名		氏 名	
活動場所 (○か□で囲む)	尚歯館		
<p>【活動内容】主なものを箇条書きで</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション</li> <li>・清掃</li> <li>・ウエス切り</li> <li>・食事介助</li> <li>・レクリエーション</li> </ul>			
<p>【体験を通して感じたこと】</p> <p>学校で生徒たちと関わる時と同様に、まず意識したのは目線でした。利用者の方々は、話しかけられると、まずゆっくりと顔をこちらに向けてくれます。そっぽを向いたまま話をする方などおらず、表情を見ながらゆっくり話してくれました。表情の変化を伝えることで、話を楽しく進められたと思います。食事の時間には、利用者の方それぞれへの対応の違いを実感しました。事前の訪問では、食事の出し方の違いをお話していただきましたが、扱う食器の違いが見られたり、介助を必要とする方でも、必要な支援がちがっていることに気付きました。更に、2日とも同じ利用者の方を介助させていただいて、食事のペースや量が2日の間で違っている様子も見ることができました。</p> <p>今回の研修を通して、学校での生活と重ねて考えられることが、とても多くあるなと感じました。ひとつは人との関わりです。会話をするときの目線と表情が会話の相手に安心感や会話の楽しさを与えられることを改めて実感しました。次に、毎日の変化です。食事の場面を見て日ごとに気持ちや体調が変化していることに気が付きました。中学校の生徒も当然同じで、気持ちも体調も日々変わり続けます。そこにどのように気付くことができるか。より早く気付くことができるか。そして、どれだけ早くより添えられるか。教員として磨くべきところだと思います。</p> <p>ほとんど経験したことのないことの連続で、衝撃的な場面を見ることもありましたが、終わったときには、少し楽しかったなと感じました。この楽しさの理由は、正直なところ、分からないですが、今後の中学校での仕事の中でも、必ず生きてくる経験だと思います。</p>			

【平成28年度 犬山市初任者研修 社会貢献活動体験研修】

特別養護老人ホーム「白寿苑」での体験を通して

学 校 名		氏 名	
活動場所 (○か□で囲む)	寿考館 ( <input checked="" type="radio"/> 1階    2階    3階 )		
<p>【活動内容】 主なものを箇条書きで</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者さんとのコミュニケーション</li> <li>・飲み物、食事の介助</li> <li>・食器洗い</li> <li>・布切り</li> <li>・洗面台の清掃</li> </ul>			
<p>【体験を通して感じたこと】</p> <p>一つ一つの活動がとても貴重で、ためになるものばかりでした。活動させていただいている間は利用者さんに意識を全て傾け、気を張っている状態でした。例えば食事の介助では、私が口に食べ物を入れすぎたりすることでのどに詰まらせてしまうかもしれませんでした。一口一口介助することがとても緊張しました。体験が終わった今では肉体的には全く問題はないですが、2日間という短い期間でも気疲れしたように感じました。それを毎日たくさんの業務をこなしてみえる職員の方は、本当にすごいなと改めて感じました。大学生のときにも同じような体験をさせていただきましたが、教員となった今と以前とでは私のそれぞれの活動に対する視点が変わっていると感じました。それは白寿苑さんでの一つ一つの活動を私の学校の学級に重ねて参加、観察等できたからだと思います。そこで僕は自分の普段の学校での生活を思い返しました。私はこの2日間の白寿苑さんでの気の張り方と同じくらいの気を生徒に回しているか考えてみましたが、できていませんでした。気を配り、生徒のために最善を尽くそうと考えていたつもりでしたが、それができていなかったということは、私にできることがまだまだたくさんあるということだと思いました。これは白寿苑さんで活動し、職員の方の仕事を見えることで気付くことができました。今回の体験を通して改めて自分の生活を見直すきっかけにもなり、温かく語指導くださった職員の皆様と、明るく接してくださった利用者の方々のおかげで大変貴重な2日間にすることができました。ありがとうございました。</p>			

3 【平成28年度 犬山市初任者研修 社会貢献活動体験研修】

特別養護老人ホーム「白寿苑」での体験を通して

学校名	氏名
活動場所 (○か□で囲む)	寿考館 ( 1階 2階 3階 )
<p>【活動内容】主なものを箇条書きで</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事介助</li> <li>・食器洗い</li> <li>・洗面台の清掃</li> <li>・お年寄りとのコミュニケーション (会話、風船バレー、ジェスチャーゲーム、体操)</li> </ul>	
<p>【体験を通して感じたこと】</p> <p>白寿苑で多くの体験を通して、3つのことを強く思いました。1つ目は、食事介助やコミュニケーションをはかる際には「命をあずかっている」という心構えで活動しなければいけないと思いました。それらの活動を怠ると食事を喉に詰まらせたり、転倒したりして怪我や命を脅かす原因につながると感じました。そのため、私は、食事を提供する際のとりみ付け、食事介助、コミュニケーションをはかる際には、足が不自由などの体の状態を把握することに努めました。2つ目は、介護をする際にはお年寄りの方々にとって居心地がいい、心が落ち着くことができる場所をつくるために、全力を尽くさないといけないと思いました。お年寄りの方々是我的先輩であり、私に色んな場面で多くのことを教えてくれた方々です。その人たちに感謝の気持ちを持ち、洗面台の清掃などどんな小さなことでも誠心誠意を込めて取り組みました。3つ目は、多くの人たちと連携することが必要だと思いました。栄養管理、怪我の治癒などを行うためには、介護士さんだけでなく、病院の方々など多くの方々と報告、連絡、相談を行う中でお年寄りの方々の理解に努めなければいけないと感じました。そのため、何か些細なことでも疑問に思ったり、感じたことはすぐに介護士の方々に聞いたり、相談しました。</p> <p>白寿苑での活動体験を通して最も感じたことは学校現場と多くの共通点があったということです。共通点として、私たち教員は学校現場での教員や外部機関との報告、連絡、相談を徹底すること、子供たちにとって居心地のよい教室環境をつくることなど他にも多くのことがありました。その中で、白寿苑の介護士の方々は、食事準備などとてもお忙しい中でもお年寄りの方々へ配慮することを怠ることはありませんでした。しかし、私は、校務分掌や教材研究をいいわけに子どもたちと全力で向き合うことができていなかったことがありました。このことを反省し、今後の教育活動に生かしていきたいと思いました。</p> <p>2日間という短い期間でしたが、貴重な体験をさせていただき有り難うございました。</p>	